



矢野 吉彦さん
(スポーツアナウンサー)
「ウイニング競馬」(テレビ東京)、「プロ野球・社会人野球中継」(各局)、「パドミントン中継」(J-SPORTS) など数々のスポーツ番組の実況を担当。平成 18～19 年「BANBA 王」(GYAO インターネットテレビ) 出演。

ばんえい競馬が廃止寸前の崖っぷちに追い込まれた 1 日を、北見競馬場からインターネットTVで生中継したのはちょうど 10 年前のこと。花も葉っぱもむしり取られてしまったと思ったら、小さな芽は残っていました。いつ踏み潰されてもおかしくなかったその芽を、さまざま人の手で守り育ててきたおかげで、毎年少しずつ、咲く花の数は増えつつあります。もうこれを枯らすわけにはいきません。なにしろそれは、「世界でたったひとつだけの花」なのですから。



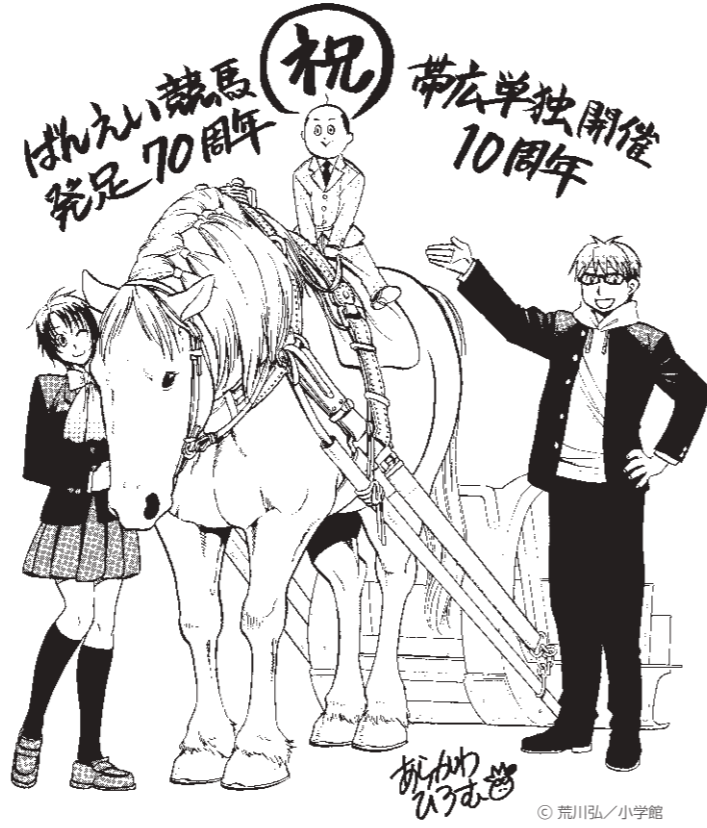
須田 鷹雄さん (競馬評論家)
中学生時代に競馬に興味を持ち、平成 2 年、大学在学中に『競馬ダントツ読本』(宝島社)でライターとしてデビュー。以来、競馬やギャンブルに関する著述を各種媒体で行うほか、テレビ・ラジオ・イベントの構成・出演も手掛ける。

北見競馬場最後の開催を、たまに思い出すことがある。北見だけでなく、ばんえい自体が無くなるかもしれないという切迫した気持ち。テレビクルーにインタビューされ、ラジオ NIKKEI 渡辺アナが号泣しながらばん馬たちの将来を心配していたのがあつたときだ。それを思うと、帯広競馬場だけになったとはいえ、いまも競馬の続いていることがなんと幸せか。しかも最近は注目度も高まり、売り上げも増えている。いまをありがたく思うし、関係者の方々には、支えてくれたすべての人々に対し、恥じるところのない競馬を続けていってほしい。



野村 文吾さん
(十勝バス株式会社 代表取締役社長)
帯広市出身。平成 15 年より現職。「シーニックパイウェイ北海道 十勝シーニックパイウェイ トカプチ雄大空間」代表、道東道とかち連携協議会会長、帯広商工会議所副会頭など公務多数。

平成 23 年に道東道が十勝まで全通するにあたり、道東道とかち連携協議会の取組みとして、十勝のプロモーションを 3 年計画で進めて参りました。その中でばんえい競馬をメインコンテンツのひとつとし、関係者の皆さまと連携して強く PR した結果、観光入込客数の増大という成果を共有でき、当社の「ばんえいプラン」は日帰り路線バスパックの主力商品に成長しました。こうした関わりをもつばんえい十勝が 10 周年を迎えられることに、心からのお祝いと感謝の言葉を申し上げます。また今後益々発展し、十勝の素晴らしいコンテンツとして世界にその名を轟かせることを願ってやみません。



荒川 弘さん (漫画家)
代表作『鋼の錬金術師』(スクウェア・エニックス)、『百姓貴族』(新書館)、『アルスラーン戦記』(講談社)など。『銀の匙 Silver Spoon』(小学館)で平成 25 年第 58 回小学館漫画賞少年向け部門、第 5 回マンガ大賞などを受賞。

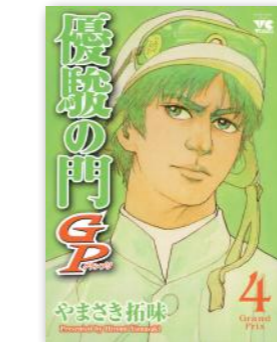


栗谷 昌宏さん
(FM-JAGA DJ)
芽室町出身。FM-JAGA (エフエムおびひろ)の帯番組「十勝魂 778 x au」をはじめ、勝毎花火大会、エスポラダ北海道ホームゲーム、コンサドーレ札幌などの MC を担当。

僕は勝負事が大好きです！ばんえい競馬の魅力は、勝負にかける魂が人馬一体となって伝わってくるところにあります。まさに十勝魂！筋肉隆々の大きな馬が歯を食いしばり、一歩ずつゴールを目指して進んでいく、その様を間近に見ながら、投票券を握り締めて応援する。勝負の楽しさはここにあるんです。しかも帯広競馬場には「元祖カレーラーメン」や「田中屋」さんの絶妙な塩加減の焼き鳥などの美味しいグルメもありますし、ばん馬に直接ニンジンをおげられるふれあい動物園もあります。スタンドの上段から見る帯広の町並みや夕焼けもとてもきれいです。こんな十勝の宝物をもっと多くの人知ってほしい。これからもばんえい競馬を応援したいと思います！

ばんえい応援メッセージ

ばんえい十勝10周年、ばんえい競馬70周年に寄せて、ばんえい十勝とご縁のある各界の方々から、お祝いや励ましのお言葉をいただきました。メッセージをお寄せくださった皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



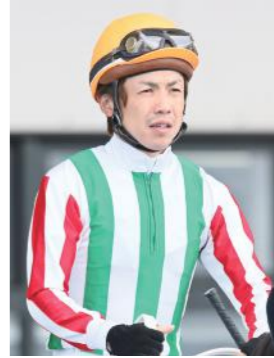
やまさき 拓味さん (漫画家)

昭和 47 年、『鬼輪番』(原作：小池一夫)でデビュー。競馬漫画の第一人者として知られ、代表作に『優勝たちの蹄跡』(集英社・ビジネスジャンプ)、『優勝の門』シリーズ (秋田書店・週刊少年チャンピオン) など多数。



根岸 吉太郎さん (映画監督)
代表作『遠雷』『探偵物語』『ヴィヨンの妻〜桜桃とタンポポ〜』など。平成 17 年『雪に願うこと』で東京国際映画祭のグランプリ、監督賞をはじめ 4 冠を獲得。平成 22 年、紫綬褒章受章。現在、東北芸術工科大学学長。

ばんえい競馬場の皆さん、またばんえいを支えてくださっている皆さん、70 周年、また帯広単独開催 10 周年おめでとうございます。私たちが『雪に願うこと』を撮り終えた頃、ばんえいが置かれた厳しい状況を振り返ると、現在のように力強く存続していることが信じられません。これはひとえに関係者の皆さんの並々ならぬ努力のたまものです。この間に、映画出演馬である「マルニシウカン」の仔が勝利したことも、私の大きな喜びでした。次なる喜びを見つけに帯広の鞍馬に会いに行きたいと思えます。ばんえい、バンザイ！



松岡 正海さん (JRA 騎手)

平成 15 年 3 月 1 日、中山 12R プラチナウィングで初騎乗。同年 3 月 23 日、中山 12R デュエットシチーで初勝利。平成 21 年、天皇賞 (春) マイネルキッツで優勝。ばんえい十勝「JRA ジョッキー DAY」に 8 回出場。

年に一度の「JRA ジョッキー DAY」も今年で 10 回目。種目が違っても、同じ競馬に携わる者同士、一緒にばんえいを盛り上げていこうという気持ちで協賛させてもらっています。ばんえいに関わる人々の優しさ、親しみやすい競馬場の雰囲気。そんなばんえい特有の環境が好きです。ばんえい競馬は奥が深く、初心者には魅力が伝わりにくい一面がありますが、僕らが参加することでその魅力が伝わり、少しでもファンの裾野が広がってくれたら嬉しいです。ばんえい騎手の皆さん、怪我のないよう、これからも頑張ってください！



山岸 伸さん (写真家)

(社)日本写真家協会会員、とかち観光大使。広告・グラビア・写真集・雑誌の表紙撮影など幅広く活躍。平成 28 年に写真集『北海道遺産 ばんえい競馬』(朝日新聞出版)発表。同年「日本写真協会賞・作家賞」受賞。

ばんえい競馬を撮り続けて 10 年になります。撮りためた写真を見て改めて思ったのは、僕は決して馬を撮っているわけじゃないんだということです。帯広競馬場に行くたびに僕を感じる、馬、人、景色、あるいは空気まで含めた「いったいここは何だ？」というインパクト。あのインパクトを撮りたいんだと思います。僕にとって力を与える場所です。これからも撮り続けていきたいです。ばんえい十勝 10 周年、おめでとうございます。